

宮崎県拠点だより



延岡市で農福連携作業体験会を開催

～市と福祉事務所等が連携した農業者への労働力支援～

延岡市で農福連携障がい者作業体験会が平成31年3月に行われました。

この取組は、延岡市内の関係機関で構成する「延岡市農業労働力支援対策協議会」(※)が農業者への労働力支援のため、市内の福祉事務所と農業者とのマッチングに向けた取組として、農業者と福祉サイドの顔合わせと相互理解を図る目的で行われました。

(※)・延岡市農業畜産課・障害福祉課
・東臼杵農林振興局
・延岡市自立支援協議会障がい者就労支援部会(福祉事務所)
・JA延岡 他3機関



作業体験の様子

当日は、市内の2福祉事業所から障がい者8名が参加し、タマネギの収穫と葉切り作業を行いました。「タマネギを抜く・葉を切る簡単な作業ではありますが、広いほ場でみんなで作業を集中して行うことで、生活リズムや症状の改善効果があると思われる」との感想があり、参加者は時間が経つにつれ慣れてスムーズに作業を行っていました。



タマネギの葉切り作業

もみ米によるソフトグレインサイレージの生産・利用を宮崎で

～地域の水田を守り飼料生産の低コスト化～

我が国の畜産の経営コストに占める飼料費の割合は高く、自給飼料による飼料生産の低コスト化を図る取組が重要となっています。

宮崎市内で肉用牛繁殖経営を行う岩切さんは、地域の遊休農地解消と自給飼料生産の低コスト化を目的に、県内では取組事例の少ないソフトグレインサイレージ(飼料用米をもみのまま乳酸発酵させた飼料。)の生産・利用に取り組んでいます。

ソフトグレインサイレージは、WCSのように専用の収穫調製用機械や飼料用米のように乾燥調整が必要なく、多収品種(オオナリ)利用により主食用米の1.5倍程度の収量が見込めるなど、大幅な低コスト化が可能です。さらに、水田活用の直接支払交付金(80,000円/10a)が受けられるメリットもあります。



熱い想いを語る岩切治俊氏

岩切さんは、「ソフトグレインサイレージは肉用牛への嗜好性も高く、WCSや飼料用米より肉用牛に適した飼料」と考えており、ソフトグレインサイレージの利用が増えれば、地域の水田を守ることにつながるという思いから、自ら担い手のいない地域の水田を借り受け、ソフトグレインサイレージの生産・利用に取り組んでいます。



SGSの調整・保管に使用する「密閉型簡易サイロ」

【ソフトグレインサイレージの調製方法】

収穫したもみ(水分20%)を乾燥せず、そのまま破碎し、乳酸菌と水を加え水分30%程度で密閉型簡易サイロまたはフレコンバックで密閉し、2ヶ月程度で給与可能となる。調製後は常温で長期保存が可能。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 ～アンバサダー(女性)に佐伯絵里子さん(高千穂町)を選出～



農林水産省の「農山漁村情報発信事業」の一環として、令和元年6月7日(金)に開催された「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」サミットにおいて、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」大賞及びアンバサダー(男性・女性各1名を第1回～第5回までの選定者の中から選出)を発表しました。その「アンバサダー(女性)」に佐伯 絵里子さん(高千穂町:高千穂ムラたび協議会)が選ばれました。佐伯 絵里子さんは、「平成28年度(第3回)ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定された「高千穂ムラたび協議会」に所属しており、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の認知度やイメージ向上への貢献が高く評価されて今回の選出となりました。今後、益々の活躍が期待されます。

「フード・アクション・ニッポン アワード2019」募集中 ～“あなたの逸品”を発見しよう～



フード・アクション・ニッポン アワードでは、国産農林水産物の消費拡大を目指し、日本全国の優れた産品を発掘・表彰しています！

今年は新しい「令和」時代の幕開けとともに、「日本の産品と出会い、“あなたの逸品”を発見しよう」というテーマで、新たな逸品への出会いを消費者の皆さまにお届けいたします！

大手百貨店、流通、外食事業者等が審査委員となり、コンテスト形式で選ばれた優良な産品は、審査委員の流通販路を通じて全国の消費者にお届けいたします！

※ 応募締切：令和元年7月12日(金)
詳しくは、HPをご覧ください。

🔍 フード・アクション・ニッポン

検索 🔍

令和元年度「飼料用米多収日本一」募集中

飼料用米生産農家の生産技術の向上を目指し、多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する「飼料用米多収日本一」コンテストを開催します。

※ 募集期間は、令和元年5月7日(火)
～令和元年7月1日(月)まで
詳しくはHPをご覧ください。



令和
元年度

飼料用米
多収日本一
コンテストを開催！

🔍 飼料用米多収日本一

検索 🔍

■ 参加できる方

令和元年産の飼料用米の生産で、次の要件を全て満たす方

- ・多収品種(知事特認含む)をおおむね1ha以上生産する方
- ・生産コスト低減等に取り組む方

地方参事官ホットライン

TEL 0985-24-2365

FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容や、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来のこどもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。